

独立行政法人国際交流基金 契約監視委員会（令和 6 年度第 1 回）
議事要旨

1. 日時：令和 6 年 8 月 29 日（木） 13：30～15：30

2. 場所：独立行政法人国際交流基金 ホールさくら

3. 出席者

- （1）委員：渡邊一弘委員長、山本裕子委員、井澤めぐみ委員
- （2）外務省：広報文化外交戦略課 船橋外務事務官
- （3）国際交流基金（JF）：古屋理事、平林監査室長、正野経理部長、河井会計課長、審議案件担当者

4. 議事概要

- （1）国際交流基金調達合理化計画について
資料に基づき事務局より報告。

- （2）再委託案件及び一者応札・応募案件について（報告）
再委託案件 5 件、一者応札・応募案件 9 件のうち審議案件 2 件を除く 7 件について、資料に基づき事務局より報告。

（3）個別案件（6 件）の審議

以下の 6 契約について審議

	契約名称	契約の相手方	契約方法	契約金額	担当部署
ア	ウェブサイト「Worth Sharing」の新環境構築及び移行、文芸サイト構築、並びに上記 2 サイト運用保守業務契約	株式会社オーエムシー	一般競争 (総合評価)	6,484,500	文化事業部 企画調整・文芸チーム
イ	令和 6 年度被招へい者向け海外旅行保険契約(本部分)	株式会社損害保険ジャパン	一般競争	5,648,130	経理部 会計課
ウ	令和 6 年度国際交流基金海外巡回展美術品等に係る損害保険契約	株式会社損害保険ジャパン	一般競争	3,978,415	文化事業部 美術チーム
エ	図書館システム再構築(ニューデリー日本文化センター対応)業務委託契約	伊藤忠テクノソリューションズ	随意契約	10,780,000	総務部 情報システム課

オ	「次世代人材交流事業プログラム（仮）」実施に向けた調査業務委託契約	個人へ委託	随意契約	1,104,000	国際対話部 企画開発チーム
カ	日本語国際センター海外日本語教師研修に係る日本語教材購入契約（非基金制作教材）	株式会社凡人社	一般競争	3,384,100	日本語国際センター 教師研修チーム

ア. ウェブサイト「Worth Sharing」の新環境構築及び移行、文芸サイト構築、並びに上記2サイト運用保守業務契約

- (ア) 契約内容：既存特設ウェブサイト「Worth Sharing」の新環境構築及びデータ移行並びに公開、海外事務所事業を含む他の文芸事業をまとめたポータルサイトの新規構築、およびそれらの運用・保守。
- (イ) 抽出理由：契約の具体的内容/多数応札となった理由・原因（類似事案との比較や工夫点等）
- (ウ) 説明のポイント：応札者が6者が多い理由としては、公示から入札まで1ヶ月以上確保する等、計画的に入札スケジュールを組んだこと、また仕様書がわかりやすかったこと等が考えられる。今回の契約は、既存のウェブサイトの移行も含まれており、新規業者が介入しづらいことが想定できたので、新規サイト制作業務も含まれることが明確にわかるよう、詳しく具体的に業務内容や我々の事業目的を明記し、幅広く興味を持ってもらえるようにした。また、本ポータルサイトの構築については、数年前から練られた構想であり、各所からヒアリングを行うなど、時間をかけて丁寧に入札に取り組めたことも大きかった。
- (エ) 委員からの主な発言：多数の応札者が集まった案件の、取り組みや工夫点をこうして共有していくことは大切だろう。今後の契約監視委員会でも、引き続きグッドプラクティスな案件も審議できると良い。

イ. 令和6年度被招へい者向け海外旅行保険契約（本部分）

- (ア) 契約内容：JF本部、日本語国際センター並びに関西国際センターの3機関が、令和6年度に海外各国から招へいする者及び随伴する家族に付保する海外旅行保険及び付帯サービスの委託。
- (イ) 抽出理由：契約の具体的内容/一者応札となった理由、原因/本部/NC/KCで個別契約する理由
- (ウ) 説明のポイント：訪日する人の保険を日本国内で手続きするのがあまり一般的ではなく（通常は出発地で保険に入るため）業務委託できる業者が限られていること、また資料請求があったものの入札参加に至らなかった会社からは、キャッシュレスサービスの対応など仕様の一部を満たすこ

とができないという声もあがった。キャッシュレスサービスについては、被招へい者にとっても有効なサービスではあるため、仕様書の変更は慎重に検討しつつ、新規の業者も探しながら引き続き幅広く声掛けしていきたい。なお、本件は、1 回の入札で、JF 本部、日本語国際センター、関西国際センターのそれぞれで計 3 つの契約が結ばれているが、事務処理上の都合や発出する書類の契約担当職が異なることが理由で分けているため、委託する業務内容には変わらない。

- (エ) 委員からの主な発言：今後は、キャッシュレス化対応が進むことも期待するが、JF と指定の病院、保険会社で連携を進めて、より効率的な支払方法を検討しても良いだろう。また、個別契約については単に手続き上の問題で機関ごとに契約を分けていることがわかった。

ウ. 令和 6 年度国際交流基金海外巡回展美術品等に係る損害保険契約

- (ア) 契約内容： JF の海外巡回展にかかる外交貨物海上保険の契約。一度巡回を始めると、5 年～10 年ほど世界各地を回っているため、途中で破損や事故が起きる可能性もあり、修復代や、修復のための日本への輸送費等をカバーする。
- (イ) 抽出理由： 契約の具体的内容/一者応札となった理由、原因
- (ウ) 説明のポイント： 一者応札となった理由としては、今まで入札に応じていた業者の担当者が変わってしまったこと、また資料請求のあった業者にヒアリングをしたところ、条件が抽象的だったとの意見があった。そもそも入札参加条件として挙げている外交貨物海上保険の保険証券を発行する業者の数が限られており、入札の参加条件が厳しい。
- (エ) 委員からの主な発言： これまで複数応札だったものが一者応札になってしまったことは好ましい状況ではなく、仕様書の改善や声かけ等、最大限の努力や改善は引き続きお願いしたい。

エ. 図書館システム再構築(ニューデリー日本文化センター対応)業務委託契約

- (ア) 契約内容： ニューデリー日本文化センターの図書館システムを、物理サーバー上で運用されてきたものからクラウドサービスに移行・再構築するための業務委託契約。
- (イ) 抽出理由： 契約の具体的内容/随意契約とした理由
- (ウ) 説明のポイント： JF では 2022 年 10 月よりマイクロソフト社のサービスを用いた情報システム基盤 JF-Cloud を本格稼働中で、同センターの図書館システムについても、JF-Cloud の仮想基盤である Azure VM への移行

が必要であった。当初は、インド国内で業務委託できる業者を探していたが、Azure VM への移行が最先端の技術を要することもあり、結果的に現地業者では図書館システム再構築業務を完遂する能力がないことが判明した。本件は、早期で移行が必要だったこともあり、これまで現地ともやり取りを重ねてきた JF-Cloud の設計構築・運用保守業者に業務委託することが最善と判断したため、随意契約を結ぶに至った。

- (エ) 委員からの主な発言：今後、他の海外事務所の業務システムが JF-Cloud 基盤へ移行する場合は、競争性も担保できるよう尽力願う。ただし、状況が国によって異なり、場合によっては日本の業者に委託したほうが安くなるということも承知した。

オ. 「次世代人材交流事業プログラム（仮）」実施に向けた調査業務委託契約

- (ア) 契約内容：日本と ASEAN 諸国間の知的対話・ネットワーキング事業を企画するにあたり、テーマの一つとして「ケア」「相互依存」等の概念をキーワードとして事業を実施する可能性、リソース等について外部専門家に調査を委託。

- (イ) 抽出理由：契約の具体的内容/随意契約とした理由

- (ウ) 説明のポイント：相手方は、プロデューサー、キュレーターであり、現代アートからデザイン、科学技術まで幅広い分野で実績がありながら、「ケア」にかかわる企画も行っており評価を得ている。また、海外での経歴があることや、調査に充てられる時間の確保が可能であることから、適任であると判断し随意契約を結ぶに至った。

- (エ) 委員からの主な発言：随意契約の場合は複数の候補の中から最適な選択をしているか、基準やプロセスが裏付けとしてあることが大切である。随意契約理由をきちんと対外的に説明できるようにしておく必要があるだろう。JF 職員は専門的な見地から、広い人脈や高いアンテナを持っているとは思いますが、専門研究員等の公募を行っている外部機関のサイト等も活用の余地があるかもしれない。

カ. 日本語国際センター海外日本語教師研修に係る日本語教材購入契約（非基金制作教材）

- (ア) 契約内容：日本語国際センターの研修事業で使用する日本語教材の購入にかかわる契約で、各研修のカリキュラムとクラス分けに応じて選定された教材を 1 か月程度の納期で納品するもの。

- (イ) 抽出理由：契約の具体的内容/一者応札となった理由、原因

- (ウ) 説明のポイント：一者応札となった理由としては、過去の入札参加者の

うち1者から「人員不足・在庫状況」を理由に辞退の連絡があり、他にも入札参加を呼びかけたが、「競争参加者資格がA等級のため競争参加資格を満たさない」と回答した業者もあり、複数者の参加を得ることができなかった。競争参加者資格は、規定のC等級のみでは十分な応札者が見込めなかったためB～D等級に広く設定していたが、次回入札においてはA等級も含めた競争参加者資格の設定を検討したい。また十分な期間を確保し呼びかけていきたい

- (エ) 委員からの主な発言：もし固定の教材があるのであれば、まとめて調達できるのではないかと考えたが、毎年カリキュラムに調整が入ること、また教材が改訂される可能性があること等も考えると、見極めが難しいことがわかった。

以上